

愛知医科大学病院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	Rapid Response System の実態調査と効果判定
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 医療安全管理室 (職名) 教授(特任) (氏名) 奥村将年
研究の対象となる方	2020年1月から2028年12月までに入院中に急変(急激に全身状態が悪化)した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2029年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] 当院では、入院患者さんの病状悪化を早期発見し治療するために Rapid Response System (RRS, 院内迅速対応システム) を導入しています。本研究では、RRS 活動と RRS が関わった患者さんのデータを収集し、よりよい RRS 活動につなげることを目的としています。</p> <p>[利用方法] カルテや RRS 活動記録から下記の情報を収集、解析します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供] 非該当 [外部への提供開始日] 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、病名、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度、意識)、経過、転帰、RRS 活動件数と内容などを収集。</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	2029年3月末までに下記まで問い合わせください。お申し出のあった患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。
外国への試料・情報	非該当

の提供	
問い合わせ先	愛知医科大学病院 医療安全管理室 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 奥村将年 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311